

ベネッセ教育総合研究所 子育て支援ウェビナー

働く母親の

「子育て肯定感」を高めるには？

父親の立場から



2023年5月6日

株式会社アイナロハ

代表 渡邊大地

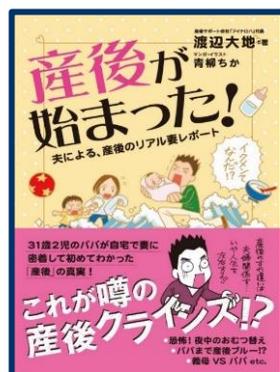


ainaloha

自己紹介

渡邊 大地(わたなべ だいち)

- 株式会社アイナロハ 代表取締役
- 札幌市立大学 非常勤講師
- ラジオ・パーソナリティー



自己紹介



ainaloha



産後ヘルパー

赤ちゃんの生まれた家庭に
家事の手伝いに行く



両親学級

妊娠中の夫婦向けに
子育て講座をする

取材にて



ainaloha

最近は
イクメンが増えました
よね？



「イクメン」の肌感覚



ainaloha

【以前】



【近年】



取材にて



ainaloha

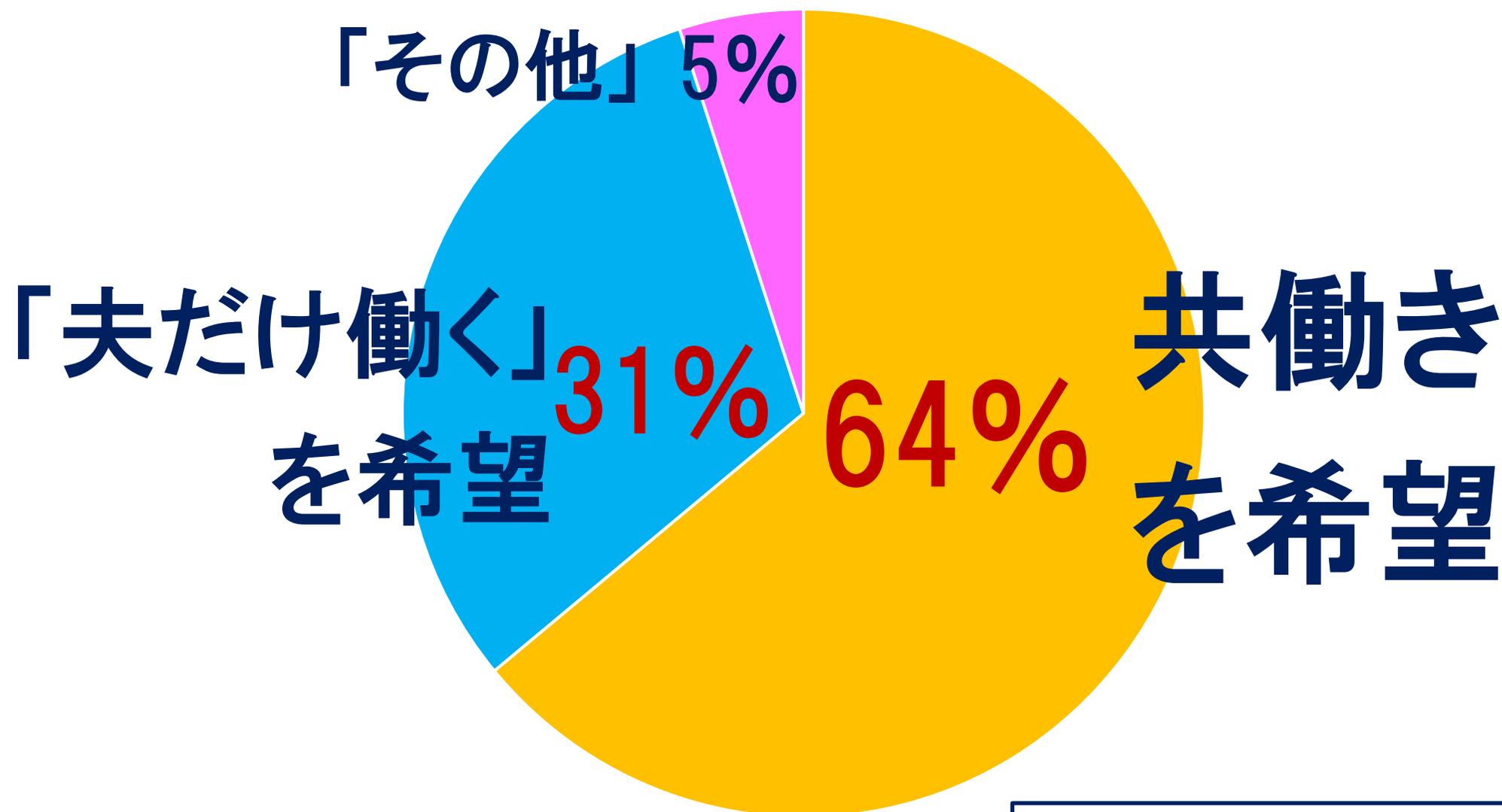
ゆっても時代とともに
男性の家事育児参画の
意識は改善してますよね？



茨城県K高等学校1年生214名



ainaloha



2023年2月実施

共働きする？ しない？



ainaloha

男子の答え

女子の答え

共働き
(52%)

共働き
(76%)

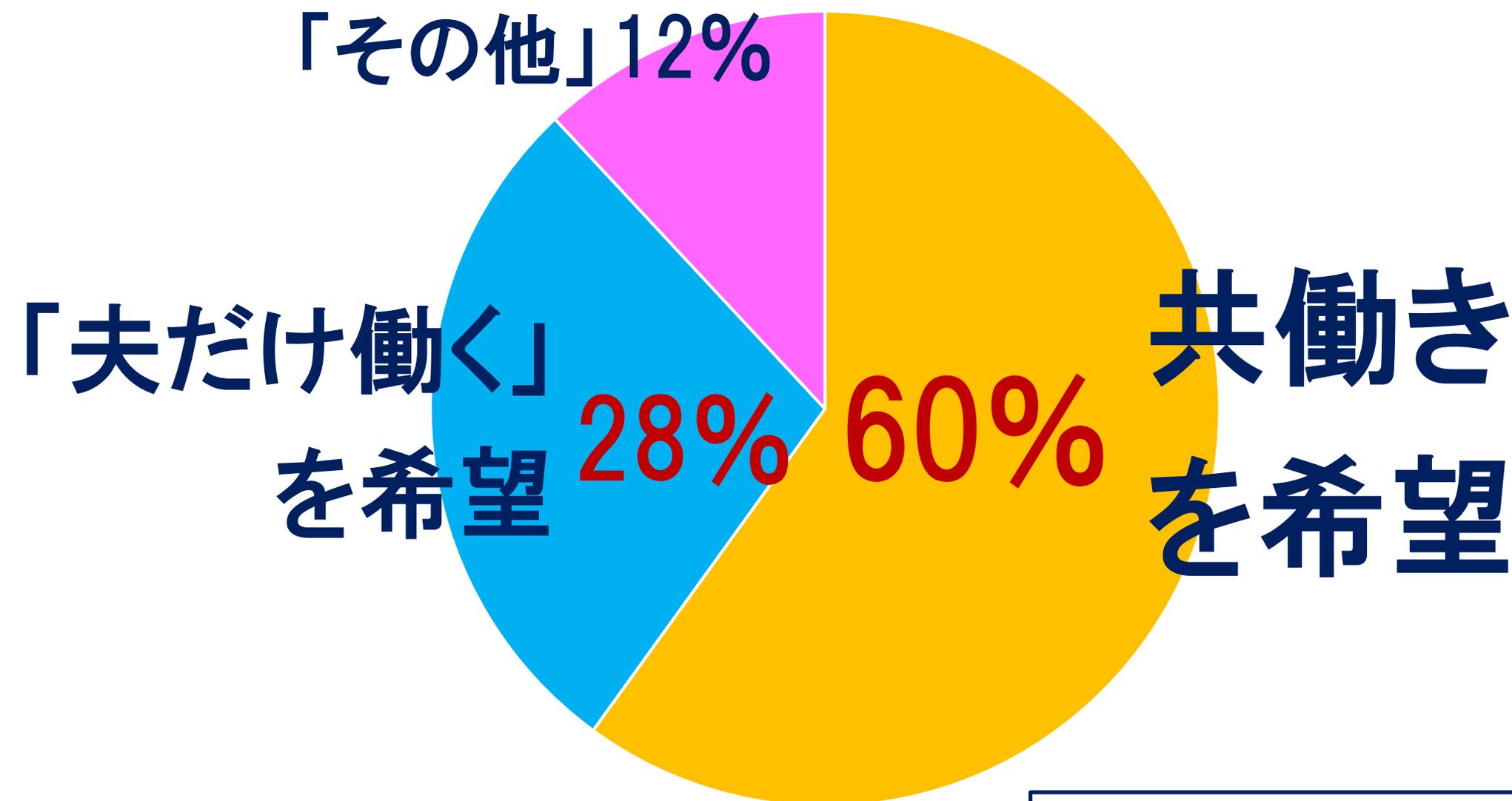
夫のみ働く
(44%)

夫のみ働く
(18%)

茨城県H高等学校1年生140名



ainaloha



2022年12月実施

共働きする？ しない？



ainaloha

男子の答え

女子の答え

共働き
(56%)

共働き
(73%)

夫のみ働く
(30%)

夫のみ働く
(27%)

「夫のみ働く」を選んだ理由



ainaloha

妻が働いたら子どもを見る人が
いなくなるから

子育てが大変だから

「夫のみ働く」を選んだ理由



ainaloha

妻は家事・子育てをしてもらいたいから

妻は家事とかにせんねんしてほしいから

「夫のみ働く」を選んだ理由



妻は育児をするべきだから

子どもの成長にとって妻が家にいるのは良いと思ったから

「夫のみ働く」を選んだ理由



ainaloha

専業主婦あこがれるから

専業主婦になりたいから。あともし
子どもができたりしたら、家にいて
おかえりって言ってあげたいから

「夫のみ働く」を選んだ理由



ainaloha

自分だけで養えるから

おれはつよいから

根深強い性別役割分業



ainaloha

時代とともに
男性(男子)の意識が
アップデートしているかどうか
は疑問…

本日のテーマ①



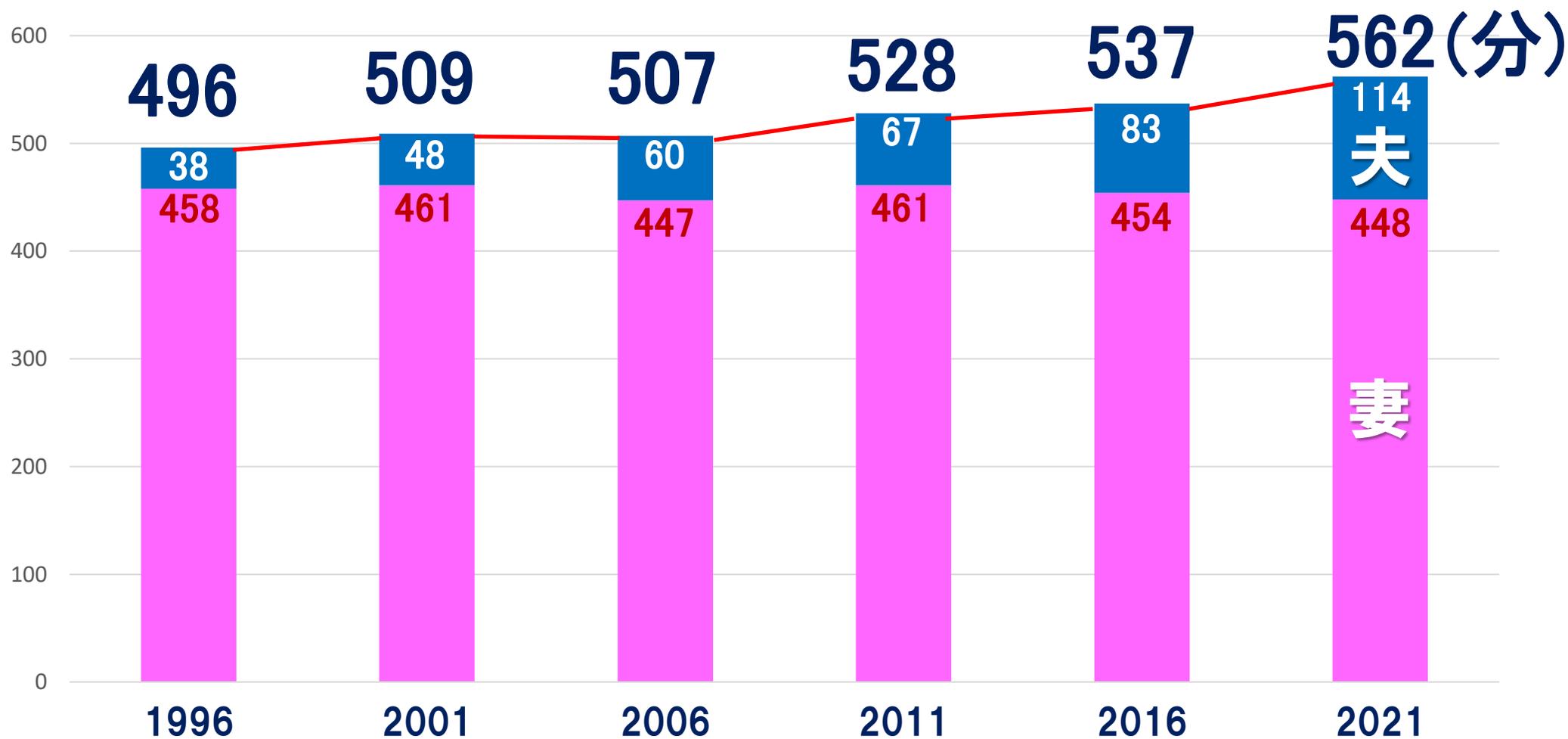
平日の子育て分担・家事分担は
共働き世帯でも
母親分担が多いまま

子育て夫婦の家事時間



ainaloha

6歳未満の子供を持つ夫・妻の家事関連時間の推移（週全体、夫婦と子供の世帯）



総務省・社会生活基本調査

子育て夫婦の家事時間



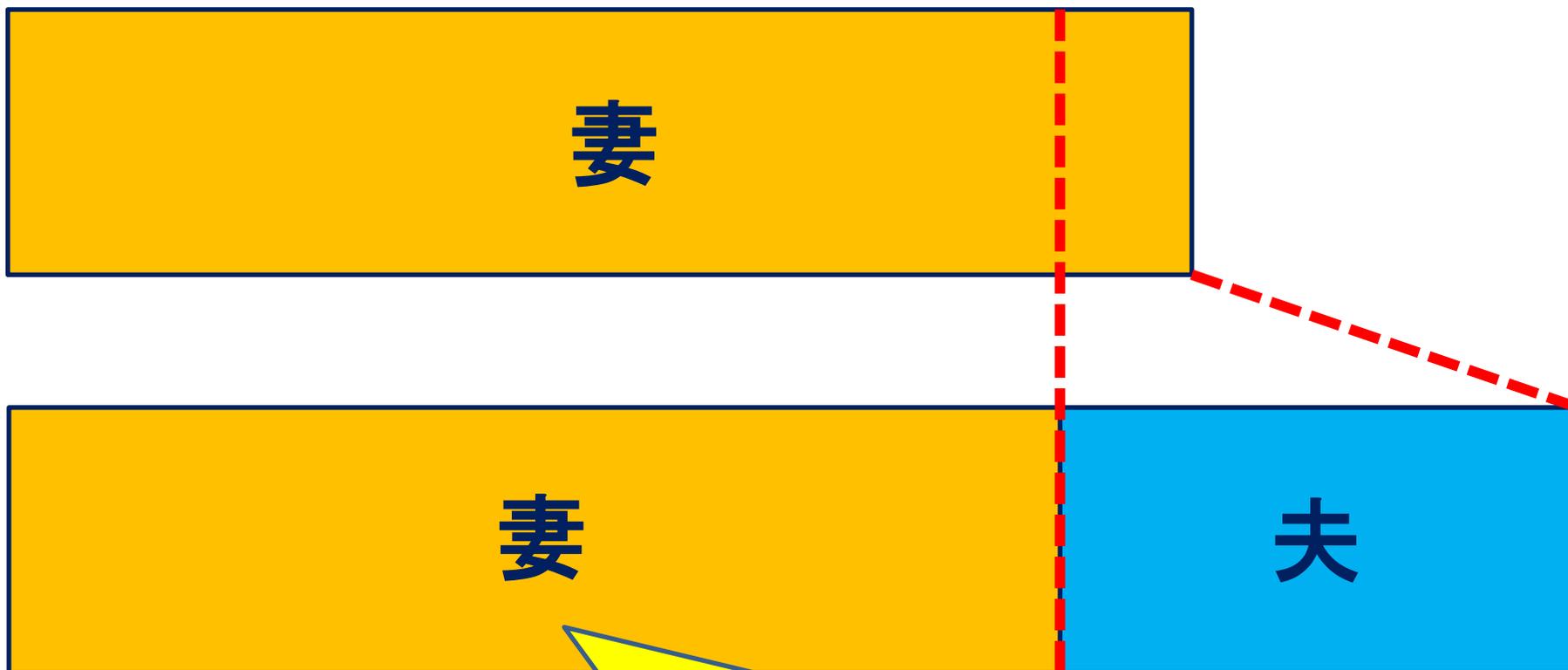
ainaloha

夫の家事時間が
増えるのに従って
夫婦全体の家事時間も
増えているという謎…

これはもしかして・・・



ainaloha



時間が減っても
責任感は減らない

時間もかかるし
責任感も乏しい

本日のテーマ①



ainaloha

平日の子育て分担・家事分担は
共働き世帯でも

母親分担が多いまま

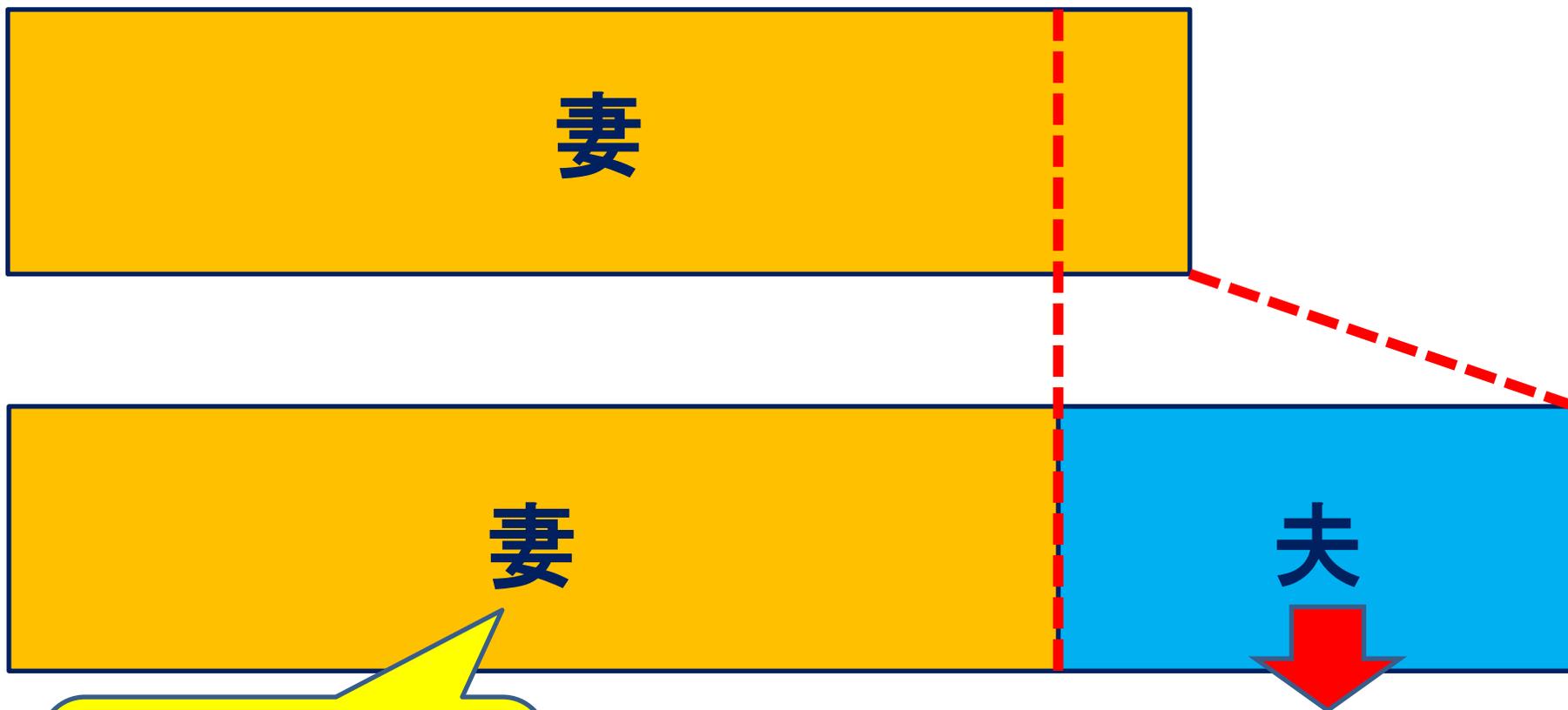


「夫の分担を増やす」だけが
解決ではない可能性

家事をやればいいってもんでもない？



ainaloha



責任感は減らない

責任感(負担感)を減らすにはどうすれば？

本日のテーマ②



ainaloha

父親が悩みを聞いてくれる
家庭は
母親の否定的感情は軽減

講座でよくやる質問です。



ainaloha

育児がうまくいったとき
ってどんなとき？

ここから推測するのは…



ainaloha

夫婦で家事や育児について

共通の話題で

コミュニケーションを図ることが

課題解決に役立つのでは？



ainaloha

ちなみに…

Chat GPTに聞きました。



ainaloha

AI 働く母親の子育て肯定感を高めるにはどうしたらいい？



働く母親の子育て肯定感を高めるためには、次のようなことが考えられます。



1. 働く母親に対して、子育てができていることへの感謝の気持ちを伝える。
働く母親が育児と仕事の両立をしていることは、非常に大変なことです。家族や周りの人から子育てができていることへの感謝の気持ちを伝えることで、働く母親の子育てへの自信と肯定感を高めることができます。
2. 働く母親が仕事と子育てを両立するためのサポートを提供する。
働く母親が仕事と子育てを両立するためには、周囲のサポートが必要です。家族や職場の上司や同僚、保育園や学校などからサポートを受けることで、働く母親は子育てと仕事を両立しやすくなります。また、子育てに必要な情報や知識を提供することも重要です。
3. 働く母親が自分自身の時間を取れるようにする。
働く母親が自分自身の時間を取ることができるようになると、ストレスや疲れを発散することができます。自分自身の時間を取ることで、働く母親は子育てに取り組む前にリフレッシュすることができ、子育てに向き合う気持ちを新たにすることができます。
4. 働く母親が自分の育児方法に自信を持てるようにする。
働く母親が自分の育児方法に自信を持てるようにすることは、子育て肯定感を高める上で重要な要素です。母親自身が自信を持って子育てに取り組むことができるよう、情報や知識を提供することや、育児に関するストレスを軽減する方法を提供することが必要です。

これらの方法を実践することで、働く母親の子育て肯定感を高めることができます。

ご清聴ありがとうございました！



株式会社アイナロハ
代表 渡邊大地